

# 令和7年度 宮城県仙台向山高等学校「志教育」年間指導計画

「○」特にあてはまる  
「○」あてはまる

3つの視点		かかわる	もとめる	はたす	かかわる		もとめる	はたす	かかわる		もとめる	はたす	かかわる		もとめる	はたす			
各教科指導目標	国語	○	◎	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	○	数学	○	○	理科	○	○
	言語文化に対する理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、思考力や創造力を伸ばし、総合的な言語能力を養う。	わが国の歴史及び世界各国の文化・風土を尊重しながら、異文化理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献するような態度を養う。	複雑な現代社会の仕組みを考察し、先哲の考え方を取り入れながら、他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的能力を養う。	数学的活動を通して、個に応じた少人数授業の展開により、基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上を図る。また、様々な事象を数学的に考察し表現する能力を高め、数学的根拠に基づいて判断する力と問題解決能力を育てる。	自然に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てるにより、科学と人間生活とのかかわりを考察し、環境問題に対応できる能力を育成する。														
指導内容	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	○	家庭	○	○	情報	○	○
	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康の保持増進を図り、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。	芸術とのかかわりを深めることで、豊かな情操を養い自らの人生を豊かにする態度を涵養する。	外国の文化や生活様式を理解して、日本の伝統や風土に関する認識を深め、国際社会での自分の役割を考え、これから生き方を探る。	生涯にわたり発達しつづけるという視点から自らの課題を見出すとともに、生活の充実を図るためにの実践的な態度を育てる。	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための知識と技能を習得させ、社会の情報化に対応できる態度を育てる。														
学年共通				かかわる	もとめる	はたす	各学年指導目標												
指導内容	大学で学ぶ意義を十分理解し、目的を持って大学・学部・学科を選び、適性を踏まえた「学び」を模索させる活動	○	◎	○	1	年	「自分の興味・関心と出会う・育てる」をテーマに、ビブリオバトル、プレゼンレッスン、オータムセミナー、ブックトークなどの活動を通じて、自己の興味・関心や適性についての把握を促し、「自分」とは何かを考えさせる。												
	発表活動や調べ学習など、コミュニケーション能力や表現力、さらには論理的思考力を養う活動	○	○	○	2	年	「自分の興味・関心を育て、学問とつながる」をテーマに、グループブックトーク、アカデミックインターンシップ、グループ発表、個人レポート作成などの活動を通じて、大学における学問とは何か、そこで何を学ぶのかを考察させる。												
	社会における役割を認識し、高い自己有用感を有する生徒を育成する活動	◎	○	○	3	年	「育んだ興味・関心をもとに未来への一歩を踏み出す」をテーマに、パーソナルプレゼンテーション(個人探究・発表)などの活動を通じて、将来、自分が社会人としてどのように社会に貢献していくかを考察させる。												
指導内容				ねらい				指導教科等		実施時期		時数	かかわる	もとめる	はたす				
1年	キャリアプランニング(文理選択と学問)	さまざまな学問分野について調べ、結果をポスターにまとめ、発表するグループワークを通じ、学問に対する自己の適性についての理解を深める。				総合的な探究の時間	4~5月	5	○	○	○	○	○	○	○				
	プレゼンレッスン	スピーチやライティングのワークショップを通じ、伝えたい内容を効果的に伝えるために必要なことを学ぶ機会とする。				総合的な探究の時間	5月	1	○	○	○	○	○	○	○				
	向陵リサーチ・基礎力養成(ビブリオバトル)	高校で出会った新書を紹介しあう「ビブリオバトル」活動を通して、テーマのある内容を効果的に伝え合う基本を体験的に学ぶ機会とする。				総合的な探究の時間	7~9月	4	◎	◎	○	○	○	○	○				
	キャリアプランニング(オータムセミナー)	社会人(本校OB)による講話と質疑応答を通して、自分が興味ある分野との関連性、各自が社会において働くことの意義を考える。				総合的な探究の時間	9~10月	4	◎	○	○	○	○	○	○				
	向陵リサーチ基礎力養成(ブックトーク)	関心のある分野の2冊以上の新書を読んだ上で、一つのテーマのもとに関連付け、原稿作成をし、発表する活動を通して、学問に対する一連の探究活動の基本を学ぶ機会とする。				総合的な探究の時間	11~1月	5	◎	○	○	○	○	○	○				
2年	向陵リサーチ(グループブックトーク)	グループごとに関心ある分野の複数冊の新書を一つのテーマのもとにまとめ、紹介しあう活動を通して、学問分野への興味・関心を言語化することを学ぶ機会とする。				総合的な探究の時間	4~5月	4	◎	○	○	○	○	○	○				
	アカデミックインターンシップ	興味・関心ある分野の大学教員や研究室との直接交流を通して、自身の興味・関心あるテーマを深めるとともに、大学における学問研究のあり方を体験的に学ぶ機会とする。				総合的な探究の時間	7~9月 夏休み 1日	11	◎	○	○	○	○	○	○				
	向陵リサーチ(個人レポート作成)	向陵Plearningで探究してきた自身の興味・関心のあるテーマをA4・5枚のレポートにまとめ、レポート作成の仕方、要旨を600字小論文にまとめる技術についても習得し、自身と大学、社会とを結ぶテーマを発信する力を学ぶ機会とする。				総合的な探究の時間	11~2月	7	○	○	○	○	○	○	○				
3年	パーソナルプレゼンテーション	自分がどのように社会貢献できるかという視点でこれまでの探究テーマを個人毎に深め、個人で研究成果をまとめ、発信することでキャリア意識の発達を促す。				総合的な探究の時間	4~5月	7	○	○	○	○	○	○	○				
												合計時数	48						